

# 調剤部通信 No.9

## 認知症徘徊声掛け訓練への参加 ～入間市上藤沢地区～

5月26日に入間市の上藤沢地区で行われました「認知症徘徊声掛け訓練」に参加してまいりました。入間市では平成26年度より実施されており、上藤沢では今回2回目の実施となります。そもそもこの声掛け訓練というのは近年増加の一途をたどっている認知症患者が、自宅から出た後行方不明になるといふ所謂「迷い人」となるケースが非常に深刻な問題となっており、地域ぐるみでこうした方々をサポートする為に行われています。

具体的な訓練内容ですが、最初にとのように声かけをしていくのか簡単なデモンストレーションがあり、その後グループごとに分かれ巡回エリア内の3箇所に配置された「徘徊役」の人に順番に声かけをしていくといったものでした。

**認知症の方への対応 (声かけのきほん)**

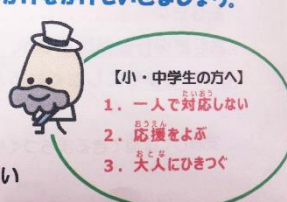
認知症の方は、自分自身にとまどい不安な状態にあるといわれています。

次の3点に注意して声かけをかけていきましょう。

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

【小・中学生の方へ】

1. 一人に対応しない
2. 応援をよぶ
3. 大人にひきつづ




当日は地元の中生も声掛け訓練に参加していました

話が変わりますが皆さんは「爪Qシール」をご存知でしょうか？入間市のオレンシリックスという会社が考案した徘徊をする認知症患者の為に、簡単に説明しますと指の爪に貼ることのできるQRコードシールです。このQRコードを読み取る登録番号と市役所の電話番号が表示されるという仕組みになっており、徘徊をする方の爪や靴の踵、キーホルダー等にあらかじめ貼っておき、保護された時に市役所、または警察に登録番号を照会することでスムーズな身元確認に繋がります。今回の声かけ訓練の徘徊役の方々の爪や踵にはこの爪Qシールが貼られており、実際にQRコードを読み取る様子などを見せていただきました。爪Qシールが交付されるまでの流れとしては、入間市の場合認知症患者のご家族が地域包括支援センターなどに申込み、ばと思われました。その為にも地域市役所の高齢者支援課から交付のの方々と繋がれるこのような機会といった形になっています。現在市を大切に、薬局主体の活動にも見後15分で身元の特定ができました。今後、緊急にいかなくてはならないと感じ方もいらっしやるようです。今後、エース薬局上藤沢店

神田 祐介